

【技術の名称】 キョウエイリング ーSD295A～SD490 溶接閉鎖型せん断補強筋ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 09-25 号 性能証明発効日：2010 年 1 月 12 日 【取得者】 共英製鋼グループ (代表会社) 共英製鋼株式会社
--	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造柱、梁に用いるSD295A～SD490 の溶接閉鎖型せん断補強筋である。従来、共英製鋼(株)および共英加工販売(株)はSD295A～SD345 の溶接閉鎖型せん断補強筋キョウエイリング(日本建築センター 評価BCJ-C2011)、共英産業(株)はSD295A～SD390 の溶接閉鎖型せん断補強筋キョウエイフープ(日本建築総合試験所 GBRC性能証明 第 07-03 号)を製造している。今回、共英グループ 3 社(共英製鋼(株)、共英産業(株)、共英加工販売(株))では、SD490 の溶接閉鎖型せん断補強筋D10～D16 を開発し、同せん断補強筋を用いた鉄筋コンクリート造柱、梁の短期許容せん断力および終局耐力などの構造性能を実験で確認している。これらより、SD295A～SD490 の溶接閉鎖型せん断補強筋をキョウエイリングと呼称を統一している。

【技術開発の趣旨】

溶接閉鎖型せん断補強筋は、135° フック付きせん断補強筋を用いた配筋工事の施工性改善などの点から、使用実績が多い。本技術は、その特徴を SD490 まで拡張したものである。

【性能証明の内容】

- 1) キョウエイリングの溶接継手は、JIS G 3112 の規格に適合する SD295A～SD490 までの異形棒鋼について、平成3年1月31日建設省住指発第31号に示された(鉄筋の溶接継手性能判定基準)による A 級継手の性能と同等の性能を有すると判断される。
- 2) キョウエイリングを用いた鉄筋コンクリート造柱、梁は、長期荷重時に使用上支障を来すひび割れおよび短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、「キョウエイリング 設計指針」に定められたせん断終局耐力を有すると判断される。

表-1 キョウエイリングの適用範囲

せん断補強筋	鋼種	SD295A、SD345、SD390、SD490
	呼び名	D10、D13、D16
コンクリート	種類	普通コンクリート
	設計基準強度	21N/mm ² 以上、かつ、60N/mm ² 以下

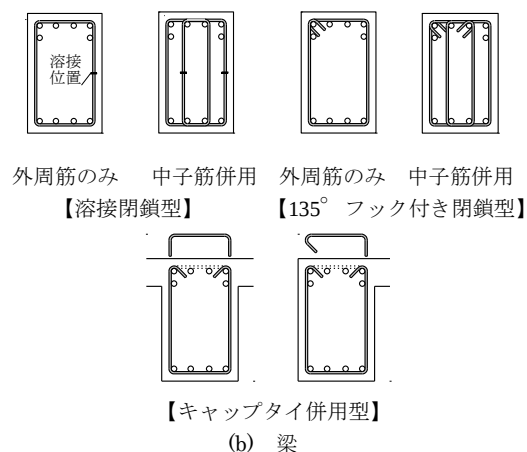
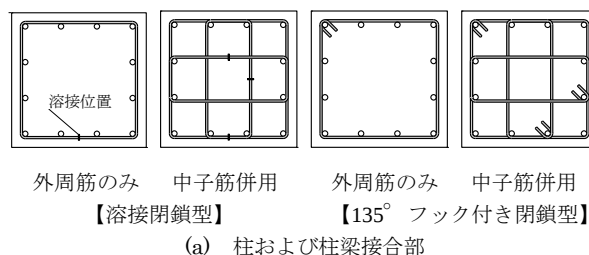


図-1 適用対象とするキョウエイリング(標準図)

【本技術の問合せ先】

共英製鋼グループ

(代表会社) 共英製鋼株式会社 名古屋事業所 担当者：(東京営業所) 小寺 耕一郎 E-mail: kotera@kyoeisteel.co.jp

(名古屋事業所) 〒490-1443 愛知県海部郡飛島村新政成末之切 809 番地 1 TEL:0567-55-1092 FAX:0567-55-1097

(東京営業所) 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 1-10 日証館 4F TEL:03-5652-0826 FAX:03-5652-0827